

○教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

教職等インターンシップ

学生が希望する進路に応じ、大学が指定した小学校、中学校、児童福祉施設、教育・教職等機関での45時間以上の就労体験を通して、自己の進路の適性を見極めるとともに、教員・学芸員等としての職業意識の向上と学習意欲の喚起を目的としている。

また、インターンシップ終了後は、学校からの要望や本人の希望で学習支援ボランティアを行い、授業力・実践力を磨く機会としている。

教育委員会との連携事業

大学と教育委員会が、優れた実践力や専門性の高い教員の養成・育成を図ることを目的として連携事業に取り組んでいる。現在、教育実習や学生ボランティア（学習支援）の取組、教師塾等の連携体制が一層進んでいる。

また、教育委員会指導主事による「教職教養特別講座」や「小学校理科授業実践講座」など教員としての資質向上を目的とした講座を開催して、就業後を見据えた支援に努めている。なお本学からは、神奈川県立総合教育センターの教員研修に本学教員を講師として派遣している。

教員採用試験対策講座等

教職センターが教員採用試験対策講座を開催するほか、教職全般に関する個別相談を行い、試験対策・就職活動支援とともに信頼される教育者となるために何が必要かを伝えている。

特に、教員採用試験対策講座では、1年次から段階的に受講できるようなカリキュラムを組み、受験校種に合わせた個別対策に加え、採用試験を実施する自治体に即したきめ細かい指導を行っている。

教員採用試験対策合宿

大学3年生を対象とし、次年度の教員採用試験受験に向けて、傾向分析やディスカッションを2泊3日で行っている。授業内容としては、教育法規や教育原理、一般教養、模擬授業指導や論作文指導、面接や集団協議など多岐にわたっている。